

報告事項イ 中長期計画の進捗状況（2018～2021年度）について

1 春緑苑

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT活用による業務効率化	タブレット端末対応介護ソフト（ケアカルテ）を全事業所に導入／見守り支援システム（眠りスキャン）を特養（併設ショートステイ含む）、グループホームに導入	運用	→	新設された介護報酬加算「科学的介護情報システム（LIFE）」に対応	→
ワークライフバランスの推進	労働環境の見直し、有給休暇の計画的取得	年5日の年次有給休暇を取得	→	衛生委員会を活用した職場環境の改善と有給休暇の年間10日間以上取得	→
職員のスキルアップ	資格取得支援、内外研修の参加推進	各種研修等に参加	→	介護福祉士資格取得支援制度の活用や内外研修のWeb研修等実施	介護に関わる職員に対して認知症介護基礎研修の受講推進
連絡体制の強化	連絡体制の強化に向けての検討／ケアカルテを全事業所に導入	ケアカルテを活用した事業所間の連絡体制を強化	運用	ケアカルテを活用した事業所間の連絡体制を強化	→
地域との連携強化	地域ニーズの把握	検討	広報活動として老人会等の会合に参加	コロナ禍における対応検討（未実施）	→
ボランティアの確保	新規ボランティアの発掘	実績無し	実績無し	コロナ禍における対応検討（未実施）	→
事業継続計画（大規模災害対策編）の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実施	→	運用・見直し。年2回の研修・訓練（シミュレーション）の実施

			デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	運用・見直し、訓練の実施	運用・見直し。年2回の研修・訓練（シミュレーション）の実施
事業継続計画（感染症対策編）の策定			計画の作成  感染時のゾーニング計画の作成	運用・見直し、シミュレーション訓練の実施 運用・見直し	運用・見直し。年2回の研修・訓練（シミュレーション）の実施

### 特別養護老人ホーム

取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
医療機関との連携強化	契約内容見直しと開拓	看取り等を含めた嘱託医契約を更新	褥瘡加算等の対応に協力を得る	看取りに関する協力医療機関の覚書を締結	→
看取りケアの充実	研究、実施	検討	在宅支援の医師と看取り対応について調整	在宅支援の医師を講師として勉強会を2回実施	在宅支援の医師とテストケースの実施 看取り推進委員会設置
介護職員による喀痰吸引実施	研修受講支援と実施ユニットの拡充	特定行為実施研修2名受講	→ (未実施)	→ (未実施)	喀痰吸引研修1名受講
介護ロボット等を活用した職員負担軽減	眠りスキャンを導入	運用	移乗用リフト10台導入、自立・サポート・チェア浴に対応した個浴3台導入	車椅子型機械浴1台導入	床走行式介護リフト5台導入

### 短期入所施設

取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経年劣化による修繕箇所把握	点検・調査の実施	対応策検討	9月から事業休止し全面改修工事を実施	全室個室化による併設型ショートとして4月から事業再開	→

デイサービスセンター					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業の拡充	総合事業等に付随するサービスを検討	定員の変更／老人会との交流／予防フロアの日曜日利用の案内と検討	市との現状報告会実施／コロナ渦での外部交流控えて付随サービスを見送り	認知症対応型通所介護の時間延長に伴う条件や問題点の洗い出し 総合事業利用者の利用回数の見直しを実施	総合事業の現状について市と意見交換 通所サービスの内容を充実させ、積極的な営業の実施
ヘルパーステーション					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人員の確保	現場職員による紹介	→	登録ヘルパー2名採用	正規職員1名採用(登録ヘルパー2名退職)	正規職員又は長時間パートの採用(登録ヘルパー2名採用)
ケアハウス					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経年劣化による修繕箇所把握	点検・調査の実施	対応策検討	エアコン6台、ボイラー、非常放送設備を更新	居室エアコン7台更新 洗面台1台更新 リース洗濯機の更新	エアコン23台更新 キッチン、洗面台、トイレ各5台更新 長期改修計画の作成及び実施

## 2 第2春緑苑

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT 活用による業務効率化	タブレット端末対応の介護ソフト導入	手書チェック表等の廃止	帳票類を削減し、データ管理	書類をデジタルに完全移行	資料についてもデジタルへの移行検討
ワークライフバランスの推進	労働環境見直し、計画的な有給休暇取得	年度の休暇希望を取り、有給休暇を確実に取得	マニュアルを見直し、業務の効率化を図る	超過勤務の削減 (コロナ禍により未達)	事業所毎の有給休暇取得計画立案・進捗管理
職員のスキルアップ	資格取得支援、内外研修の参加推進	実務者研修等への参加	資格取得の積極的支援	オンライン研修の活用 行政研修、資格更新研修への参加	オンライン研修の活用とフィードバックの実施
地域との連携強化	認知症カフェ等で交流の機会を確保	上級認知症サポーターの受入	コロナ禍により認知症カフェを中止	地域との共同防災訓練の実施	→
ボランティアの確保	新規ボランティアの発掘	ボランティアセンター紹介による確保	→ (コロナ禍により休止)	→ (コロナ禍により休止)	コロナ感染状況を見ながらの再開及びボランティア団体现況調査の実施
事業継続計画(大規模災害対策編)の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実施  デイサービス「災害時対応マニュアル」作成	→  運用・見直し、訓練の実施	防災委員会を活用してのBCP運用・見直し、訓練の実施 防災委員会を活用してのBCP運用・見直し、訓練の実施
事業継続計画(感染症対策編)の策定			計画の作成  感染時のゾーニング計画の作成	全事業所の感染対策症指針、BCPの作成完了  運用、見直し	感染症対策の指針及びBCPに基づく勉強会、トレーニングの実施  →

特別養護老人ホーム					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
介護ロボットによる職員負担軽減	見守り支援システムの導入	巡視回数の検討	巡視回数を削減し、覚醒に合わせた排泄介助を実施	利用者の状態変化、ケアプラン更新時に使用パッドの見直しを実施	パワースーツ、フルフラット車椅子、移乗ボードの活用及び評価
医療機関との連携強化	契約内容見直しと開拓	看取り準備を含め嘱託医業務の見直しと検討	精神科医と嘱託契約／嘱託医に看取り協力依頼	看取りの振返りを嘱託医と実施	→
看取りケアの充実	研究、実施	OJT 研修及び実施施設見学	手順書、指針の見直し	看取りケアの実施後にデスカンファレンスを実施	看取りの実施と他ユニットとの情報（経験）共有
介護職員による喀痰吸引実施	研修支援と実施ユニットの拡充	介護職員2名資格取得	コロナ禍により研修の中止	衛生管理者、防火管理者、安全対策担当者養成研修及び権利擁護研修の受講推進	安全対策担当者養成研修、権利擁護研修、認知症介護基礎研修の受講推進
腰痛防止				パワースーツ、フルフラット車椅子・移乗ボードの導入	
地域包括支援センター					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
地域との連携強化	商店街の行事等を通じて担当地域へPR	商店街行事「弘法市」に福祉相談コーナー出店	分室を活用したサロンを開催、ケア会議実施	勝川分室において夢クラブ「書」を月1回実施	独居高齢者対策として徳農地区にて住民主体での見守り活動確立

### 3 とよた苑、東山デイサービスセンター

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
施設の改修、大型設備の更新	内部検討委員会の設置	厨房新設、個室増設等を含め改修工事内容を検討、見積依頼	感染症対策を含めた改修工事の見積りを本部に提出／職員通用口に防犯対策として電気錠を設置	現状確認（不具合箇所：エアコン・換気扇、各所オペレーター）	エアコン・換気扇の更新 厨房の改修検討
職員満足度の向上	労働環境見直し、計画的な有給休暇取得	有給休暇取得目標を7日に設定し実施	勤怠システムにより労働時間の問題点を可視化し、時間外勤務を改善	毎月の衛生委員会での状況確認、業務改善により概ね改善	業務分担の見直し検討、実施
職員のスキルアップ	資格取得支援、内外研修の参加推進	研修参加率100%、資格取得者11名	コロナ禍により施設内で勉強会開催／リモート研修など含め参加率76%	研修参加率： 特養81.6%、ケアハウス100%、在宅80.2%	リモート研修などを含め90%の参加
事業継続計画（大規模災害対策編）の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実施 デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	→ 運用・見直し、訓練の実施	防火訓練及び勉強会の実施 防火訓練及び勉強会の実施
事業継続計画（感染症対策編）の策定			計画の作成  感染時のゾーニング計画の作成	運用・見直し、シミュレーション訓練の実施  運用・見直し	初動対応のシミュレーションの実施及び役割の細分化等部署別（職種別）のマニュアル作成  →

特別養護老人ホーム					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
利用者重度化の対応	医師や職員の配置、設備器具の見直し	医師の通勤にタクシーチケットを導入／チェアインバスを導入／低床・超低床ベッドを導入	ST 配置／静養室に眠りSCAN を導入／ベッドを全室更新	コロナ禍における本人の意思尊重を重視した環境づくり等施設内で研修 ケアの実践及び振り返りの実施（看取り実績：5件）	研修受講支援などによる看取りのための体制強化
喀痰吸引技能習得者の配置	研修受講支援と提供サービスの拡充	2名受講し配置	1名基本研修終了（コロナ禍により実地研修未受講）	2名研修受講	順次受講
介護ロボットによる職員負担軽減	見守り支援システムの導入	運用	腰痛対策で床走行式・起立リフト、介護スーツの導入を検討	機器について検討継続	移乗介助用機器の検討・導入
専門的資格取得者の配置	認知症等の専門的資格取得者を順次配置	認知症介護実践者リーダー研修1名受講	（コロナ禍により資格取得研修に参加できず）	認知症実践者研修1名受講	認知症等の専門的資格取得者を順次配置
ICT 活用による業務効率化	タブレット端末対応の介護ソフト導入	デジタル記録へ移行（50%）	デジタル記録へ移行（入所施設 80%、在宅部門 90%）／不具合箇所の分析を行うが業務の特性上完全移行は困難。今後の使用方法を業者も含め検討	眠りスキンのデータ活用による介護の質の向上と看取り介護実施時の精神的負担の軽減	蓄積を活用した情報の一元化

デイサービスセンター					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
機能訓練の充実	PT・OT等の専門的資格取得者を配置	マルチホームトレーナーを導入	ルームランナーを導入／OT1名採用	ルームランナーやマルチホームトレーナーなどのリハビリ機器を使用した機能訓練内容の充実	機能訓練メニューの充実による利用者の意欲向上 新たなリハビリ機器の導入検討
認知症対応の機能強化	知識の習得と実践、援助内容検討会の設置	認知症対応型サービス事業管理者研修等4名受講	認知症介護実践者研修等2名受講	利用者の周辺症状改善のため認知症対応型サービス事業管理者研修等の受講(8名)	認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修を順次受講
ヘルパーステーション					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人員の確保	正規職員1名採用	パート職員をハローワーク、ホームページにて、また職員を通じて募集したが採用に至らず	→	→	既存登録ヘルパーの勤務時間の見直し及び非常勤職員の募集方法の検討
福祉用具貸与事業所					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
介護教室等の開催	単独による介護教室や展示会の開催	4回開催	(未実施)	新たな商品の内部勉強会の開催(1回)	地域住民やケアマネジャー向けの介護教室や展示会を開催し、他事業所との連携を図る。
居宅介護支援事業所					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
他事業所との連携強化	他事業所との勉強会や情報交換会の開催	事例検討会、交流会等に参加(計6回)	事例検討会に参加(1回)	リモートなどを活用し事例検討会や情報交換会等に参加(計10回)	包括的な地域支援のため事例検討会を開催し他事業所との連携を図る。



ケアハウス					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
居室・共用部分の補修	設備器具の点検及び更新計画の作成	不具合箇所の補修	設備器具の点検、不具合箇所の補修	居室トイレ、温水器などの水回りの補修及び入替居室・共用部分の排煙窓オペレーターの修理 エレベーター、配電盤などの電気系統修理	設備機器の点検、不具合箇所の補修

#### 4 第2とよた苑、保見の里

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT 活用による業務効率化	タブレット端末対応の介護ソフトの検証	記録の量と質の充実	情報共有機能の有効活用	データ分析による介護事故・ヒヤリハット対策への活用実施	AI、モバイル機能活用による業務効率化(特にケアマネ、ヘルパー)
ワークライフバランスの推進	労働環境見直し検討	年休取得率向上と超過勤務の削減	→	→ 対前年度比：年休支給率3%増、超過勤務29%減	→
職員のスキルアップ	資格取得支援、内外研修の参加推進	介護福祉士等4名取得	動画研修の導入・実施と理念の浸透(理念カードの配布と説明)	ユニットリーダー研修1名、認知症介護基礎研修6名受講	ユニットリーダー研修、認知症介護基礎・実践研修等の受講支援
施設設備の地域開放	施設説明会の実施と地域開放に向けた検討	施設説明会の実施	→ (コロナ禍により未実施)	→ (コロナ禍により未実施)	地域交流スペース等の開放
ボランティアの確保	新規ボランティアの発掘	→	→ (コロナ禍により未実施)	→ (コロナ禍により未実施)	新規ボランティアの発掘
事業継続計画(大規模災害対策編)の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実施 デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	→ 運用・見直し、訓練の実施	→ →
事業継続計画(感染症対策編)の策定			計画の作成 感染時のゾーニング計画の作成	運用・見直し、シミュレーション訓練の実施 運用・見直し	→ →

特別養護老人ホーム					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
介護ロボットによる職員負担軽減	見守り支援システムの導入	見守り支援システムの運用／法人事例発表会にて実績報告（保見の里）	見守り支援システムの運用	移乗介助ロボット SASUKE2 台導入	移乗介助ロボットの運用
ユニットケアの質の向上			理念の浸透(理念カードの配布と説明)	ユニットリーダー実地研修施設を目指すためのセミナー受講	ユニットリーダー実地研修施設認定の取得準備
喀痰吸引技能取得者の配置				未実施	研修受講支援
デイサービスセンター					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
リハビリ機器の拡充	機器の選定	現有機種（6種類）の利用者満足度調査を実施（満足度 87%）	機能訓練支援システムの比較調査(現状では機能不足)	未実施	リハビリ機器の追加導入
リハビリ要員の充実			機能訓練支援システムの比較調査(現状では機能不足)	本部とともにPT、OTの採用活動実施（応募有）	PT、OTの配置
地域包括支援センター					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
認知症カフェの実施	企画	保見地区の認知症カフェを初開催	→	→ (コロナ禍により未実施)	認知症カフェの再開

## 5 大府の郷

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
介護ロボット等の導入及び活用	タブレット端末対応の介護ソフト導入	運用	「安全衛生教育マニュアル」に反映/デイサービスでの活用開始	「安全衛生教育マニュアル」を活用した入職者に対する基本的事項の徹底(特養)/「安全衛生教育マニュアル」の整備及び活用(デイ)	浴槽用リフト、リクライニング車いすを整備
労働環境の見直し	調査、検討	超過勤務申請体制再周知/休憩時間見直し/休憩場所の整備/デイサービス勤務時間見直し	実態把握体制の構築	年次有給休暇の計画的取得促進 (付与日数に対する平均消化率: 54.58% = 平均9.4日)	年次有給休暇の計画的取得促進(付与日数の60%を全員取得)
資格取得を推奨	介護支援専門員更新研修1名/実務者研修2名	実務者研修2名	介護支援専門員更新研修1名/実務者研修3名	主任介護支援専門員研修1名、実務者研修3名	該当者に対し推奨
研修参加推進	内部研修参加者合計26名/外部研修参加者合計40名	内部研修参加者合計24名/外部研修参加者合計21名	内部研修参加者合計19名/外部研修参加者合計9名	外部研修参加者合計39名	外部研修参加者合計24名
実習生受入推進		実習受入担当者研修受講2名/実習受入契約締結/介護福祉士養成校1校/社会福祉士養成校2校/介護支援専門員実務研修/教員免許特例法による研修	介護福祉士施設実習(Web)実施	実習受入担当者研修受講者1名、介護福祉士施設実習(Web)1校、教員免許特例に係る実習受入4名、介護福祉士実習受入2名、社会福祉士実習受入1名、介護支援専門員実習受入2名	Webを含めた受入推進/実習受入担当者研修1名

サロン、クラブ活動による連携推進		地域住民に対して長草横丁企画勉強会実施及び講師派遣／地域住民とさわやか福祉財団(堀田力氏)との座談会参加	→ (コロナ禍により未実施)	→ (コロナ禍により未実施)	地域と連携し介護教室、認知症カフェを開催
事業継続計画(大規模災害対策編)の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実施 デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	運用・見直し、訓練の実施	→
事業継続計画(感染症対策編)の策定			計画の作成	運用・見直し、シミュレーション訓練の実施	→
特別養護老人ホーム					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
夜勤職員配置体制見直し			7名体制夜勤の立案、試行／上記マニュアル整備	7名体制夜勤9日実施	夜勤7名体制を確保
喀痰吸引の体制整備及び教育	検討	→	→	→	研修修了者1名確保

## 6 若草苑

養護老人ホーム					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
処遇目標を設定	利用者一人ひとりの処遇目標の設定	記入様式を改善	→	記入様式の再改善の実施	→
日常生活ルールの見直し	日常生活ルールのマニュアルを作成	冊子を職員及び利用者へ配布し周知	→	見直した冊子を配布し全員に周知	→
行事の見直し	行事企画の都度見直しし簡素化を検討	次年度行事について検討、実施	改築工事（1期）中の行事の検討、実施	改築工事（2期）中の行事の検討、実施	改築後を見据えた行事の再検討
ワークライフバランスの推進	労働環境における改善課題の洗い出し	年休 5 日以上取得／残業削減の取組開始	計画的年休取得標準化／残業時間削減実現	→	→
職員のスキルアップ	実務者研修受講／内部企画研修の充実	介護福祉士合格者増／外部研修派遣増	WEB研修を職員 1 人 2 回受講	WEB研修を正規職員 1 人 2 回、パート 1 回受講	→
地域との連携強化	地域包括や民生委員の会合への参加調整	包括との連携、地域会合への参加実現	コロナにて地域との交流を見送り	→	民生委員会合等の地域会合への参加
地域貢献事業の実施				コロナ禍により地域ニーズを把握できず	地域ニーズの把握
ICT 活用による業務効率化					特定施設事業指定に伴いケアカルテを導入
事業継続計画（大規模災害対策編）の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実施 デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	→	→
事業継続計画（感染症対策編）の策定			計画の作成 感染時のゾーニング計画の作成	運用・見直し、シミュレーション訓練の実施 運用・見直し	→ →

## 7 春日苑、ワーカー鷹来

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT 活用による業務効率化	本部主催、介護ソフト導入検討会に参加	ケアカルテの導入、運用開始	ICT 活用に対する設備等の評価、検討	新機器一部導入、運用開始 Wi-Fi 環境の整備	ナースコールの更新及び通信機能の連携
勤務体制の見直し	介護課の勤務時間の見直し、検討	介護課、看護課、ワーカー鷹来の勤務時間の見直し	介護課の勤務時間を一部見直し、検討	介護課の勤務時間の一部見直し実施	→
職員のスキルアップ	資格取得者 8 名 県内外の研修参加	各資格取得者 11 名 県内外の研修参加	各資格取得者 4 名 県内外の研修参加	各資格取得者 5 名 県内外の研修参加	→
他施設との交流	交流推進	→	→ (コロナ禍により中止)	→ (コロナ禍により中止)	実施方法の検討
グループホームの開設	ワーカー鷹来の保護者と 2 施設見学／関連研修会に参加	グループホームを視察(春日苑)／保護者にアンケートを実施(ワーカー鷹来)	→ (コロナ禍により中止)	→ (コロナ禍により中止)	→
事業継続計画(大規模災害対策編)の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練実施 デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	→ 運用・見直し、訓練の実施	→ →
事業継続計画(感染症対策編)の策定			計画の作成 感染時のゾーニング計画の作成	運用・見直し、シミュレーション訓練の実施 運用・見直し	→ →
障害者支援施設					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
外部評価の実施	第三者評価の実施	自己評価	→	第三者評価受審	自己評価
ケアガイドラインの実践	委員会の設置	実施	→	勉強会の開催、実施	→

理学療法士等専門職員の増員	募集するも適任者なし	募集するも適任者なし	理学療法士1名採用		
ベッドの更新	低床ベッド29台、超低床ベッド4台更新	運用	→	居室の一部改修 低床ベッド6台、超低床ベッド6台更新	運用
エレベーターの増設	調査	設置困難と判断	BCPの課題として再度検討するも高額費用、設置場所など課題多数で要検討	代替え案の検討	→
防災・防犯体制の充実	設備等の検討	防犯カメラとモニターを設置	防災用品の整備	非常用自家発電機を設置	運用
介護ロボットの導入	移乗サポートロボット「ハグ」を2台導入	運用	コールシステム、眠りスキャン等を検討	眠りスキャン導入・運用開始	運用
上位加算への移行	直接処遇職員の確保、定着	人員配置加算(1.7対1)を取得	直接処遇職員の確保、定着	→	→
日中活動の多様化支援	他事業所の利用検討	利用促進	→	→	→
送迎の拡充	ハイエース1台更新	運用	→	→	車両の更新検討
就労継続支援(B型)					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
拠点送迎の実施	他法人の状況確認	保護者アンケートによるニーズの確認	運用方法の検討	運用方法の検討	運用方法の検討・実施、運転手の確保
新規就労支援事業の導入	他法人との情報交換実施	施設外就労の検討	施設外就労を実施	→	→
パン製造事業の見直し	職員体制や製造業務時間、販売先の見直し 新商品検討、開発実施	職員体制や製造業務時間、販売先の見直し 新商品検討、開発実施	新商品検討、開発実施 販売方法、製造方法の検討	敷地内での販売方法の検討 パン製造への研修参加 製菓製造検討、実施	→



## 8 サンホーム豊田

障害者支援施設					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT活用による業務効率化		タブレット端末対応の介護ソフト導入	運用	→	→
外部評価の実施	第三者評価の実施	自己評価の実施	→	第三者評価の実施	自己評価の実施
ワークライフバランスの推進	労働環境見直し	→	→	→ 生活支援員室の整備	→
職員のスキルアップ	資格取得支援、内外研修の参加推進	→	→	→	→
強度行動障がい者に対する支援	支援計画の立案、試行 スムーズレンの実施 強度行動障害支援養成研修（基礎）の開催	→	外部講師の研修、養成研修（実践）、自立課題の強化	養成研修（実践）、自立課題の強化	外部講師の研修、養成研修（実践）、自立課題の強化
地域移行に向けた新規事業の検討	グループホーム事業を検討	→	→	→	→
高齢化への対応	超低床ベッド4台導入	浴室リフトの設置1基	高齢化対策の検討	グループ支援体制に移行	→
機能訓練プログラムの実施	平行棒の設置	クノンボールによる実践	作業療法士を配置	リハビリテーション加算の取得	→
夜勤体制の強化	職員の確保、定着	検討	定着、確保／救急隊へ資料提供により救急車への夜勤職員同乗なし	見送り	人員配置強化と夜勤配置加算取得に向けて検討
事故防止対策の強化	委員会活動の強化、見直し	実施	→	→	→
防災・防犯対策の強化	地域・関係機関との連携強化	訓練改善	非常用電源設備による炊き出し訓練の実施	地域連携訓練の検討 警察署、消防署との連携強化	→

ボランティア・実習生の 受入れ拡大	体制の整備、宣伝活動の 実施	→	→ (コロナ禍により休止)	→	→
事業継続計画(大規模災 害対策編)の策定		計画の作成	運用・見直し、訓練の実 施 ダイサービス「災害時対 応マニュアル」の作成	→ 運用・見直し、訓練の実 施	→ →
事業継続計画(感染症対 策編)の策定			計画の作成 感染時のゾーニング計 画の作成	運用・見直し、シミュ レーション訓練の実施 運用・見直し	→ →

## 9 さくら保育園

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT化の推進				睡眠中の事故防止センサー導入、運用開始 登園管理・保育記録ソフトの導入、運用開始	運用 各種ソフトの有効活用
ワークライフバランスの推進	計画作成	実施	→	→	労働環境の見直し
職員のスキルアップ	調査、計画作成	→	園内研修実施	オンライン研修の受講	内部研修への参加促進
地域との交流推進	町内会等へ行事案内	協議会開催	親子教室実施	(コロナ禍により中止)	地域交流実施計画の検討、実施
新規事業の開始	検討	計画作成	事業開始	(コロナ禍により中止)	親子教室の再開
保護者の満足度アップ	調査の実施	改善	見直し、改善	保育ニーズの把握	安心、安全な保育環境の設定
防犯対策の強化	外灯の器具選定	設置工事完了	→	防犯カメラ設置完了	運用
事業継続計画、洪水時避難確保計画の作成及び訓練の実施		事業継続計画作成	見直し、訓練開始 洪水時避難確保計画作成	訓練・運用	計画の見直し及び全職員の共通理解、定期的な訓練の実施
感染症対策の実施			感染防止対策の実施	→	→
新園設立準備				準備	開園

## 10 さくら第2保育園

共通					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ICT化の推進					睡眠センサー導入、運用 登園管理・保育記録ソフトの導入、運用
ワークライフバランスの推進					計画の作成
職員のスキルアップ					計画の作成 園内研修の実施
保護者の満足度アップ					保育ニーズの把握
地域との交流推進					町内会等への行事案内
事業継続計画(感染症対策編)の策定					計画の作成、運用
感染症対策の実施					感染防止対策の実施

## 11 法人本部

人材の確保と育成					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
リクルーター制度の導入	リクルーター制度の導入	実施	→	→	→
外国人の受入れ	介護福祉士養成施設奨学金貸付制度要綱を設置し、養成施設に周知を要請	ベトナム人留学生を1名採用	特定技能制度によりインドネシア人を介護職員として受入(とよた苑及び第2とよた苑に各2名)	→ (コロナ禍により中断)	→
職員紹介制度の導入	職員紹介制度の導入検討	導入	実施	→	→
次世代の福祉人材の養成	実習生、ボランティアの受入れ強化	調査	実施	→	→
人事制度・給与制度の見直し		職員の能力開発や人材育成のため、人事評価システム及びキャリアパス制度を構築 キャリアパス制度と連動した給与制度の改正	運用	→	→
採用サイトの新設		新卒採用者及び中途採用者への効果的な情報提供を行うためのWebサイトを新設	運用	→	→
職員採用動画の作成			採用活動の強化のため、職員採用動画を作成し、法人ホームページの採用サイトにアップ	運用	→

オンライン型研修の導入			各 OJT 研修の統一化 自己学習の支援のため、 インターネットを活用 したオンライン型研修 の導入に向け情報収集	検討、実施	→
-------------	--	--	---	-------	---

### 福利厚生充実

取組事項	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
事業所内託児所の設置	調査、検討	設置、運用	→	→	→
最寄り駅からの通勤用送迎	調査、検討	春緑苑・春日苑の職員を対象に通勤送迎バスの利用についてアンケートを実施し、デイサービスの送迎と合わせて検討	デイサービスの送迎業務の委託について運行管理サービス提供事業者と検討を進めたが、費用対効果を考慮し導入を断念		
寮の借上げ(遠隔地採用者等)	調査、検討	準備	職員宿舍借上げ制度を創設し、遠隔地高校新卒者受入れのための民間アパートを借上げ (インドネシア介護士 4 名入居)	→ (山梨県、和歌山県の高卒採用者各 1 名入居)	→ (石川県の高卒採用者 1 名入居)

### 職員の業務負担軽減 (ICT 化)

取組事項	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
Wi-Fi 環境の整備	全高齢福祉サービス事業所に整備	全障がい福祉サービス事業所に整備	運用	→	→
タブレット端末対応の介護ソフト導入	全介護保険事業所及びケアハウスに導入	全障害福祉サービス事業所に導入	運用	→	→

見守りロボットの導入	全ての高齢者入所施設に見守り支援ロボット（眠りスキャン）を導入／スマートフォン対応型ナースコールを導入（春緑苑短期棟、ケアハウス春緑苑、第2春緑苑）	スマートフォン対応型ナースコールを導入（特養春緑苑、グループホーム春緑苑、第2とよた苑）	→	スマートフォン対応型ナースコールを導入（春日苑）	→
ネットワークセキュリティの強化	調査、検討	法人内拠点間を結ぶ専用のネットワーク（VPN）を構築し、通信の安定性やセキュリティを確保	→	→	→

#### 業務の効率化

取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
車両リース、車両管理の一括契約	調査、検討	法人所有の車両のメンテナンスを一括外部委託	→	→	→
給油管理の見直し	複数のスタンドが利用可能な給油カードを車両台数分配布し、給油や洗車の利便性を向上	実施	→	→	→
ドライブレコーダーの導入		運転者の交通安全意識を高めるとともに事故時の検証に役立てるため、利用者送迎用の車両にドライブレコーダーを導入	→	→	→

インターネットバンキング等の活用	インターネットバンキングを活用することで事務を合理化	→	→	→	→
災害・感染症対策					
取組事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業継続計画(大規模災害対策編)の策定		拠点単位で計画を策定	運用 デイサービス「災害時対応マニュアル」の作成	→ 運用	→ →
事業継続計画(感染症対策編)の策定			拠点単位で計画を策定 拠点単位で感染時のゾーニング計画を策定	運用 運用	→ →
非常用給水設備の設置		春緑苑において井戸を試掘し水質検査を実施	第2春緑苑に地下水利用給水設備を設置／第2とよた苑・大府の郷において井戸の試掘、水質検査を実施／春緑苑は水質が安定せず断念	第2とよた苑に地下水利用給水設備を設置	運用
非常用自家発電設備の設置		春緑苑(特養、ケアハウス、グループホーム)、第2春緑苑、とよた苑(特養、ケアハウス)、第2とよた苑、保見の里、サンホーム豊田に設置	→	春日苑に設置	→
安否確認メールの導入			導入、運用開始	→	→



法人の PR					
取組事項	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
法人のロゴ制作	検討	ロゴを活用し、名刺、封筒を作成	→	→	→
新ロゴを取入れた公用車のラッピング	検討	公用車の車両更新時に、順次、法人ロゴを取入れたステッカーを貼付	→	→	→
施設パンフレットのリニューアル			検討、準備 ケアハウス豊田作成	さくら保育園・さくら第 2 保育園作成	他全施設作成
地域貢献活動の推進					
取組事項	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
地域貢献事業への取組み	大府の郷に地域住民の交流の場となる「長草横丁」を開所	運用	→	→	→
その他事業					
取組事項	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
とよた苑雨水排水工事	施設全体の雨水排水対策を実施	運用	→	→	→
若草苑改築事業	協議、調整	豊田市と建替に関する基本協定を締結し、基本設計業務の業者を選定	実施設計を行い、工事請負業者の入札準備／若草苑の改築に伴い、若草苑デイサービスを廃止	工事着手（年度末出来高 40%）	8 月末を目途に入居棟の完成 10 月から「特定施設入居者生活介護」事業の開始 令和 5 年 3 月総合竣工予定
春日苑エレベーター増設工事	調査、検討	設置場所について検討	適当な設置場所が決定できず、当面、見送り		

春緑苑ショート改修工事		調査、検討	全室個室化及び浴室、食堂等施設の全面改修を実施／単独型施設から特養併設型施設に変更	事業再開	→
第2とよた苑駐車場拡張事業			慢性的な駐車場不足を解消するため、近隣土地の購入準備	買収、駐車場整備、運用開始	→
新保育園の整備			春日井市の公募に応じ保育園の新設を決定／住民説明会の開催及び基本・実施設計を実施	契約事務、建設	事業開始